

# バトニング（薪割）説明



## 目次

1. バトニングとは
2. バトニングに適したナイフ
3. 薪の種類
4. バトニングテクニック
5. 作業注意



Muthos Homura

# 1. バトニング (Batoning) とは

バトニングはナイフを使って薪を着火しやすいように細分化する薪割りを指します。

## 斧や鉈の薪割り方法

振りかざして勢いと重みで薪割りをおこなう  
先端が飛んだり、薪が跳ねたり、刃が自分に突き刺さる  
などの危険が伴うので熟練と切断姿勢などの注意が必要。

## バトニングでの薪割り方法

初めからナイフを薪に当てた状態からナイフの背を叩いて  
薪を少しずつ割っていくので比較的安全。  
薪を割るための腕力も必要ないため、女性でも薪割りを  
楽しめます。



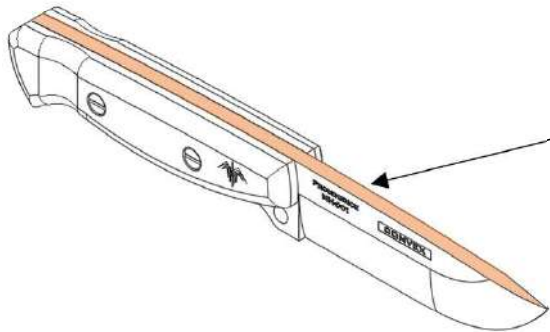
## 2. バトニングに適したナイフ

バトニングはナイフの背を叩くため、ナイフ自体の強度が重要となります。

### 推奨：フルタングナイフ（Bushcraft Knife Prominence MH-001）

ナイフの先端から根本までが一枚の金属で出来ている。打撃にも強いが、ナイフの鋼材（靱性；しなやかさ）とブレード厚によって剛性が変わるので注意必要。

弊社推奨： ナイフ硬度 HRC60以下  
ブレード厚 4mm以上



刃と柄が一体であり  
柄が左右サンドイッチで  
固定されるタイプ

### 非推奨：ブライントング（Mora Knivesなど）

安価なナイフは柄部分が樹脂製となっており、衝撃で柄と金属部分の剥離や内部での折れが発生する可能性があります。

見えない構造になっていますが、非常に細いものがほとんどです。



見えない部分でコストカット  
打撃強度は弱く、中で折れる可能性もあります

### 非推奨：フォールディングナイフ（Victorinoxなど）

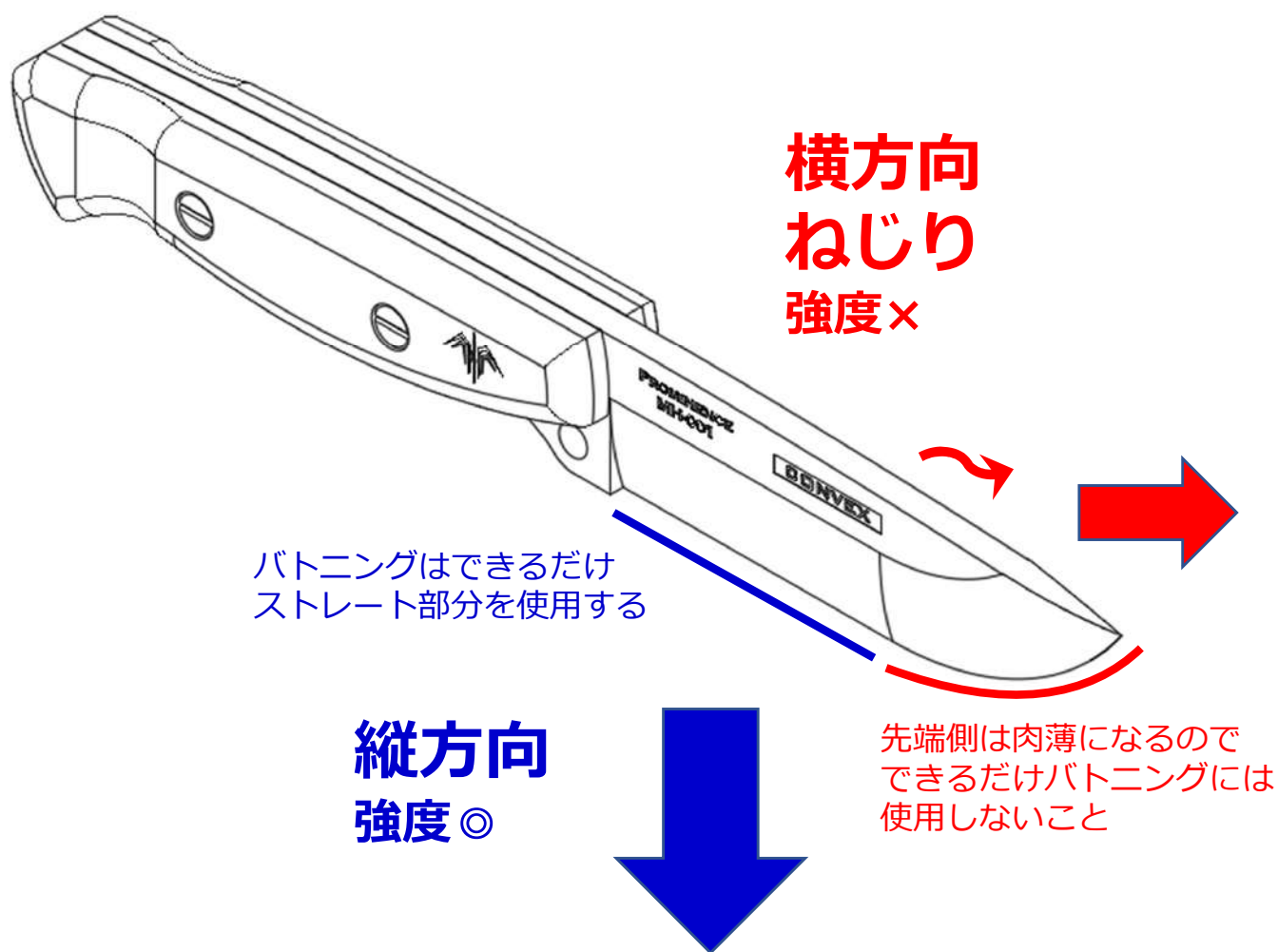
携帯性は良いが折り畳み機構があるため、衝撃には弱くナイフ自体の破損の懸念大



元々が刃元で回転する機構のため  
打撃強度は殆どありません！

## ⚠ 警告

ナイフや刃物は構造上強い方向と弱い方向があります。誤った使い方をされますと刃欠けや折れに繋がる可能性がございますので、切断方向と切断物の木目、切断物の硬さなど充分にご配慮の上でご使用をお願いします。



## ⚠ 警告

ナイフをご使用となる際、持ち運ばれる際には下記の2つの法律にご注意ください。最悪の場合、逮捕される場合がございます。

1. 銃砲刀剣類所持等取締法(銃刀法)
2. 軽犯罪法による規制(凶器を隠し持っていることの禁止)

### 3. 薪の種類

薪は大きく分けて2種類あります。  
焚火での用途が異なるので、目的にあった薪を選定する必要があります。

#### 1. 針葉樹（杉、檜、松など）

内部に微細な空気孔があることから比重が軽いいため

- ・着火しやすい
- ・比較的短時間で燃え尽きる
- ・薪割りしやすい
- ・瘤や節が比較的少ない

特徴があることから、焚火シーンでの着火用木材として使用することが多いです。

バトニングには適した木材です。

#### 2. 広葉樹（ナラ、クヌギ、欂、白樺など）

非常に詰まった重たい木であることから

- ・着火しにくい
- ・長時間燃え続ける
- ・薪割りしにくい
- ・瘤や節が比較的多い

ことより、着火後の長時間火持ちさせるための薪として使用することが多いです。

硬く繊維も曲がっていることも多く、非常に割れにくい材料でバトニングでの薪割りは推奨していません。

（斧などによる強破壊が適しております）

#### 針葉樹の比重

杉	0.38g/cm <sup>3</sup>
檜	0.18-0.30g/cm <sup>3</sup>
松	0.47g/cm <sup>3</sup>

#### 広葉樹の比重

ナラ	0.67g/cm <sup>3</sup>
クヌギ	0.82g/cm <sup>3</sup>
欂	0.69g/cm <sup>3</sup>
白樺	0.62g/cm <sup>3</sup>

※水は1.0g/cm<sup>3</sup> 数値が低い=割れやすく燃え尽きやすい





広葉樹

針葉樹



瘤 (こぶ)



木目

特に瘤付近は木目が直線  
ではないことが多い



木目

瘤は殆どなく  
木目は直線で  
割りやすい

## 4. バトニングのテクニック

正しいバトニングの方法をおこなうことで安全かつナイフも傷めずにおこなうことができます。

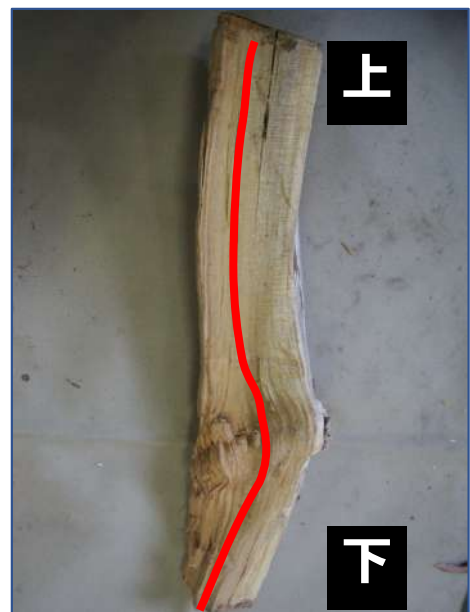
### バトニングに必要な道具

- ①薪（針葉樹が好ましい）
- ②ナイフ（フルタングかつ4mm厚以上が推奨）
- ③グローブ
- ④バトニング台（高さ10cm程度；無い場合は固く平坦な地面）
- ⑤バトニング棒（無い場合は薪でも可能）

### バトニングの手順

- 1) バトニングおこなう薪を選定する  
※割りやすい太さ、木目のものを選ぶ
- 2) 薪をバトニング台の中央に乗せる  
※木目を見て出来るだけ直線が多い方をナイフ側にする

薪：太すぎ



ナイフ直線長さ×60%程度が  
バトニング可能な最大の薪太さ  
と考えてください

### 3) 薪にナイフを当てる

※できるだけ根本合わせでナイフを当てること

※根本は最低でも1cmくらい隙間を開けること



### 4) ナイフの背を叩き、ナイフが薪に潜り込むまで叩く

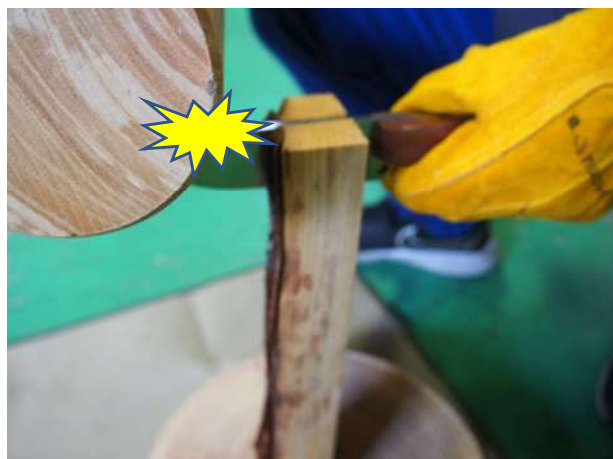
※最初から先端側を叩かないこと



薪の真上を叩くイメージでナイフを真っ直ぐ下に落としていく



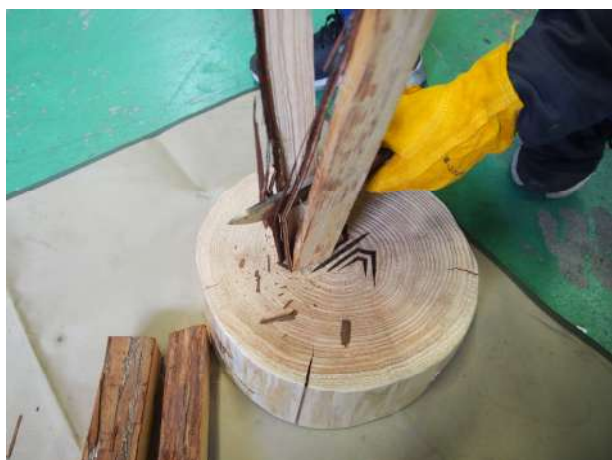
## 5) 薪にナイフが潜ったら、先端部分を叩く



薪が太すぎると先端の打撃ができずに抜けなくなりますので  
適したサイズの薪を選定する必要があります

## 6) 薪が割れるまでナイフの先端を叩く

※弊社ナイフは概ね1/3程度で割れてくれますが、  
一般的なナイフでは根本まで叩かないと割れません



最後まで完全に叩く必要ありません

ある程度割れたら最後は手で引きはがしてください（樹皮でつながっている場合）  
ナイフがバトニング台に触れないことが刃の長寿命に大事です

参考：フェザリングをおこなうのに適したサイズは  
1～2cm角となります。できれば松ヤニを含んだ  
ファットウッドのご使用をお勧めします。



Bush Craft ティンダーウッド  
1000g 2,266円 (Amazon)

## 5. 作業注意

刃物を扱う危険な作業です。

下記に十分注意の上で、楽しいアウトドアライフをお過ごしください。

- ①必ず安全装具（グローブ）を装着して作業してください。  
割った薪などで棘が刺さる可能性もあります。
- ②刃物の延長上にご自身や周りの方の身体がない状況で作業おこなってください。
- ③薪は横に飛ぶ可能性があります。バトニングの左右にもご自身および周りの方がいない環境で作業行ってください。
- ④ナイフが落下して怪我に繋がる可能性がございます。  
細心のご注意いただき、落下防止に努めてください。
- ⑤万が一、薪にナイフが嵌ってしまった場合は無理に捻じって取り出そうとせず、真上か真下に動かして外してください。その際にご自身に刃が向かないようご注意ください。

### もし刃欠けが生じたら

弊社会員様限定のナイフ専門業者での再研磨サービス（有料）もございます。  
お気軽にご連絡ください。

